

○事業所名	横浜市戸塚地域療育センター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数)	54
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの適正な評価とアセスメントをもとに支援計画がなされています。	日々の療育の中でお子さんの評価やアセスメントを行ない対応等の確認を行ないながら、個別支援計画に反映させています。定期的に関わるスタッフでのカンファレンスを実施し、チームで目標の確認を行っています。	お子さんの支援内容は現行の目標立てからガイドラインに沿った5領域の項目をより意識し、家族支援・地域支援計画も引き続き丁寧にアセスメントを行ってまいります。クラスに関わるスタッフがアドバイスを受けながら、よりよい支援が行なえるよう、引き続きSVによるクラス支援を行ってまいります。
2	保護者支援がしっかり行われています。	保護者がお子さんと一緒に通園することで、日々の療育場面を共有し、懇談・個別面談を通じてスタッフとお子さんの様子の共有・理解を図っています。また、保護者教室（勉強会）を設定し、お子さんの特性の理解や対応のポイントなど知識を得る機会を設けています。	就労しながら通園されるケースも多くなってきている現状のなかで「親子通園」における保護者支援プログラムの内容の検討は必要であると考えています。その一方で、「親子通園の強み」も実感しているところではあるため、療育場面の参加や保護者教室の実施方法など、負担ない保護者支援プログラムの検討を引き続き検討してまいります。
3	非常時の対応がしっかり行なわれています。	月1回の避難訓練を実施し、センター内の職員にも応援を求め意識づくりをしています。また、ケガや感染対策など、緊急時の対応を職員向けマニュアル等を事前説明し、研修を実施しています。	災害状況、避難経路等バリエーションを持った訓練の実施を引き続き検討します。また、ケガ、事故に関しては引き続きインシ・アクシレポートを日々の連絡会で共有し、同じような事案が繰り返されないようにします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の配置（適正数） ・空間（清潔で心地よい・子供たちに合わせた空間・狭い・古い）	市の基準に準じた職員配置であるが行動障害の強い利用児が多く、マンツーマン対応が必要なケースが増加しています。建物の老朽化・狭隘化で使用できる部屋が限られています。	行動障害加配職員配置により、改善も見られてきていますが対応に必要なケースも増加している状況にあるため、職員増加に向けて要望を出して行きます。各教室の床や、壁などの修繕については引き続き要望を出していきます。教室の空間、お子さんが過ごしやすい環境づくりなどはソフト面での工夫を検討していきます。
2	・地域との連携子ども関連施設との交流 ・地域その他施設との連携が出来ていない ・保護者の活動・きょうだいへの対応	通園利用児の通う地域の幼稚園・保育園への情報共有・連携に留まっている。民間の児童発達支援事業所との連携については、現在、個別支援計画書のやり取りにとどまっており、十分な情報交換ができていない状況です。親の会の活動への協力は行っているものの、きょうだい児への支援は行えていません。	利用児の通う地域の園については引き続き園連携を実施します。また、交流についてはお子さんの特性をふまえ慎重に検討します。民間事業所との連携は参観や事業所見学等の場を設けていく事を検討します。きょうだいへの対応は親の会主催の勉強会等で実施を検討します。
3	・情報発信 ・保護者・職員ともに情報発信が出来ていない	ホームページやSNSの活用はしているが、利用者、職員ともに呼びかけが不十分です。職員の中での情報共有（特に地域連携について）の不十分な点があります。	現在使用している機能の充実（ホームページ・X・マチコミ等）を図ります。職員にむけてもセンター全体のサービスも含めた情報発信、周知を徹底し、理解を深めていけるよう促します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

横浜市戸塚地域療育センター
(児童発達支援センター)

公表日

令和7年3月26日

利用児童数

72名

回収数

54名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	9	8	1		1室の広さは事業所の基準をクリアしている環境ですが、環境設定が必要な場合などで十分とは言えない状況ではあります。活動の内容と必要なスペースを限られた構造の中でお子さんが安全に過ごせる工夫を行ないます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	43	11	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	6	1	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	10	4	2		清掃員による清掃だけでなく、療育後はスタッフによる清掃、消毒は毎日実施していますが至らぬところもあったかと思えます。引き続き職員への意識付けを実施いたします。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	53	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	53	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	53	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	50	3	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	53	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	44	6	0	4		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	27	4	14	9	交流はないけど、交流しても難しいところが多々あると思うので、今のままでいいと思います。	保育園交流は一部のクラスで実施していた経過もありますが、コロナ以降、実施できていない現状があります。お子さんの特性や状況をふまえ、実施については慎重に検討していきたいと思えます。
保 育 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	53	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	53	0	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	54	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	54	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	54	0	0	0		

護 者 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	13	4	12	きょうだいへの支援はありません。	保護者の自主運営の下、療育時間中のきょうだい児保育の実施はしていますが、きょうだいに関するイベント開催等は出来ておりません。保護者会主催の勉強会でも講師に向けての質問が多く寄せられており、さまざまなアドバイスもいただいています。年々きょうだいのご相談は増えてきており、関わるスタッフが対応しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48	4	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	51	3	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	40	4	1	9		連絡事項はクラスつうしん等の紙媒体、マチコミやXなどを活用しております。自己評価等についてはHPに掲載しておりますが、今後はさらに情報発信に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	52	1	1	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	49	3	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	52	0	1	1	定期的に避難訓練は実施されているが、地震時の避難経路の確保や火災の際の戸締りを訓練内でもう少し徹底しても良いと思う。また、不審者侵入時を想定した訓練も行い、役割分担や、避難経路及び誘導などを確認することも検討してみたい。	年間の避難訓練で様々な想定で実施をしています。「利用者避難」を優先に考えておりますが、二次災害を防ぐ、安全な避難経路の確保なども訓練を問わず再度日頃からの意識付けが出来るよう徹底してまいります。子どもたちの特性上、日常と異なる場面を経験することは重要ですが、とても課題が高く、実施可能な時期や回数について検討していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	51	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	48	2	0	4		現状として、事故が発生した場合は当事者（被害・加害等）へは速やかに報告しています。また、事後の様子についての聞き取りも状況が分かり次第行なっています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	52	2	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	47	3	1	3		今後も、お子さんの安全・安心できる環境づくりと楽しめるプログラム内容を検討して行きながら、療育環境を整えていきたいと考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	51	3	0	0		

事業所名		横浜市戸塚地域療育センター (児童発達支援センター)		公表日		令和7年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	7	活動やお子さんの特性に配慮し衛立を活用して区切りを作成し、適切な空間を提供しています。	規定の広さは守られているが、1クラス6人以上の体制はスペースが足りないと感じるため、別の部屋を用意。また、空間の工夫などで安全を図ると良いと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	4	加配職員の配置、非常勤職員の補充により、安全に児童を把握し、しっかりと支援できる体制を築くことができています。	・個別配慮が必要な児童が複数いる中で、現状の体制では、事故につながるおそれがあり、限界場面もあり、療育の質の保障が難しいと感じます。 ・状態像や介助量に応じて、週5クラス以外にも加配職員の配置が必要と考えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	・児童の行動評価に基づいて、衛立や棚を作成して環境上の配慮をしています。 ・フリースペースにマークをつけることで、移動場所を明瞭化しています。	・建物や設備の老朽化 ・大人向けの手すりはあるが、子ども向けの手すりが無いこと、全館通して床材が冷たくクッション性が無いこと等、児童の動線のバリアフリー化ができていない要素があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	8	清掃員の清掃が行き届いており、清潔にしています。	・老朽化や設備により夏は暑く冬は寒く、温度調整の限界があります。 ・施設の狭隘化
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	部屋を区切ることで限られたスペースを最大限活用しています。	児童の安全につながる、雨天時の活動スペースの確保
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	・MBOの実施により、所属長と職員の目標確認や振り返り実施しています。 ・業務改善の検討、グループミーティングによる意見収集等の機会が設けられています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・利用者には保護者向けのアンケートや聞き取りを実施し、保護者の意向とのすり合わせを行い支援につなげています。 ・職員には個人の面談やクラスのカンファレンスを実施しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	部署全体の会議や小グループ等でのミーティングを毎月実施し、意見の吸い上げや情報共有ができています。	把握の機会を活かす仕組みの構築
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	横浜市の監査、第三者委員会による第三者の外部評価を実施しています。	評価結果を業務改善につなげる仕組み構築
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	法人全体、部署、所属課等、多様な規模での研修が組まれており、視野や幅を広げるための機会が設けられています。	希望の日程での研修等の機会の確保
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	毎月クラス担任が作成したプログラムを児童発達支援管理責任者や園長と共に確認や検討を行い、児や保護者に合ったプログラムを展開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	保護者と児童の様子を共有・課題を確認し、必要な支援や取り組みを反映した個別支援計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	利用者との接点の多い担任の視点、管理責任者の専門的な視点、他職種の視点を踏まえた課題や支援、共通認識をもって作成することができています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・児童の状態に合わせて注意事項や配慮事項を確認しながら療育を実施しています。 ・毎日記録を作成し、主任と共有しながら計画を遂行しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・日々の行動観察や保護者との連絡帳をもとに標準化されたツールを用いて支援を提供しています。 ・個々の状態像に合わせて担任間で動線の調整をしています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・個別支援計画書の項目の中に児童の支援だけでなく保護者支援の目標も入れ、他機関を併行利用している児童は他機関との連携も実施しています。 ・項目ごとに具体的な支援内容を設定しています。	他機関へ訪問しての支援を適切な時期に実施します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・クラス内のプログラムはクラス担任が立案し、行事等のプログラムはチームで実施しています。 ・児童に応じて工夫を加えながら意味のあるプログラムになるよう取り組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・グルーブミーティングを通じて、他クラス同士プログラムの共有をしています。 ・毎月プログラム内容を変えて展開しています。 ・回数を重ねることでアップデートが可能であるため、あえて同じプログラムを立てることもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・個別と集団の活動を適宜組み合わせ児童の発達に応じた活動を実施し、支援計画を作成しています。 ・個別場面・集団場面の様子を踏まえて評価し、児童の特性を計画書に組み込んでいます。	・グループの中で児童が安全に過ごせる体制や場所の確保
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	全体で当日の動線確認と児童の様子について情報共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	・支援後は必ず振り返りを実施し、次の対応について検討・情報共有をしています。 ・児童の様子を記録を残し、振り返り可能な環境を作っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日々の記録の実施し次の支援に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・個別面談の実施 ・定期的に見直し検討をしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者や園長が参画し、児童の担任、担当SWも参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	施設内で地域の関係機関の職員を対象とした勉強会や見学会を行い、療育の共有を実施。また、個々の引継ぎや対応の共有等を実施し、卒園後も児童や保護者が安心して継続したサービスが得られるよう支援しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	療育参観、園訪問、電話相談などを実施	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	・就学先へのケースの引継ぎ ・療育場面の見学	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	6	ケースを通じ、療育参観や園訪問を実施	・他の事業発達支援との連携が薄い点 ・連携を踏まえた研修を実施
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	9	1	・法人内の別事業所や学校の研修 ・作業療法士の運動プログラムを計画 ・外部研修を通して支援学校の児童の成長に伴った支援を学んでいます。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	6		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9		新型コロナウイルス感染症の流行以降、取り組みができていない点
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・親子日の実施 ・直接話す、連絡帳や電話などで日頃から情報共有をしています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	・親子日での懇談や面談、保護者教室の実施 ・保護者向けの勉強会で、障害や児童について深める機会を設けています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・年度初めに保護者全体に向けて説明の機会を作り、クラス内でも資料を通して確認しています。 ・保護者から質問があり次第、丁寧に対応しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	個別面談を実施し、児童の成長や課題を共有するとともに、保護者のニーズの聞き取りや家庭での困り感を踏まえて計画書を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	個別面談で同意を取ったうえで実施	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	電話や連絡帳、親子日での聞き取りを実施	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1	全体親子日でクラス内の保護者の交流を図っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	適宜、園長や他職種への相談を行い、迅速に対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・クラス通信の作成 ・書面での周知やマチコミ等のSNSを活用して発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・配布物は名前入りの書類を配布し、職員間で確認し漏洩防止に努めています。 ・社外に持ち出し厳禁。家庭訪問や引継ぎで持ち出す場合は、氏名など個人が特定できない状態で、園長と確認を得てから持ち出しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・視覚的手がかりの活用 ・子どもや保護者のイメージがしやすいよう、写真や動画等を活用して伝えています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		新型コロナウイルス感染症の流行前は近隣施設と合同で交流の場を開催していたが、流行後は中止しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	毎月避難訓練を実施	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・避難訓練、消防訓練の実施 ・災害時の職員の動き方を確認する職員研修を実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	健康質問票の作成、適宜看護師による聞き取り	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	医療指示書をもとに適切なサービスを提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・全体研修と避難訓練 ・マニュアル化し、職員研修の中で共有、確認しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	・家庭状況票での緊急時連絡先の確認 ・体調確認や突発的な怪我、その他安全配慮について書面に加え、懇談でも流れを確認している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	直ちに園長に報告し、担任から保護者に状況説明を行い、園長から市に報告。再発防止策を検討し、職員間で周知し対応の共有を図っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	虐待防止委員会のもと、研修や施設内での情報共有を図っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市戸塚地域療育センター　ぴーす東戸塚（児童発達支援事業所）			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書に沿って、1人ひとりに合わせた支援を行っています。	個別支援計画書の作成や支援方針の検討にあたっては、児童発達支援管理責任者、担当の保育士・指導員だけではなく、療育センターの医師やソーシャルワーカー、心理士など、多職種によるこれまでの見立てを踏まえ、作成しています。また、必要に応じて都度相談し、助言を得て改善策を検討しています。	これまでもフォーマル評価・インフォーマル評価など組み合わせさせて多面的なアセスメントを実施してきました。今年度は、様式の見直しとともに、5領域を意識したアセスメントや支援プログラムのねらい、職員の意見交換の場をもち、検討してまいりました。家族支援や地域支援の計画と合わせ、より丁寧な支援につなげていきたいと考えています。
2	こどもに合わせたお部屋やプログラムなどの環境設定がなされています。	小集団プログラムのため、同じクラスで同じプログラムを実施することになりますが、上記のアセスメントにもとづき、個々のお子さんの発達段階や特性に合わせて、毎日設定やジグ（こどもに伝えるカードや呈示物）をチェンジしています。また、発達段階や興味関心、認知特性等により、選択した小集団プログラムではうまくいかないことも多々あります。計画作成時だけでなく毎回検討を続け、個々の特性と集団化した場合の動き・課題を何度もシミュレーションして実施しています。	引き続き、左記の取り組みを継続します。また、職員の入れ替わりもあることから、職員で共有する仕組みをつくり、プログラムやねらい、視点の共有をはかり、人材育成に努めます。
3	個人情報の保護や災害時等を想定した対応などが、しっかりとなされています。	毎年、全体研修を行い、職員全員でルールについての確認を行ってきました。また、ヒヤリハット事例をすぐ共有し、改善策を検討することで、意識続けることができるようにしています。	引き続き、左記の取り組みを継続します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や家族の支援、きょうだいの支援について、十分ではない。	懇談の時間やクラス毎の保護者教室を設定していますが、お子さんへの支援にかんする話題が多く時間を割いており、保護者同士の交流という側面が弱かったように思います。また、交流する時間が取れるように「リフレッシュ分離日」を設けたりしていますが、周知が不十分な側面もありそうです。	懇談の時間の使い方、話題については、職員間でも共有していきます。保護者同士の交流を求めている方がおられる一方で、交流を求めている方、苦手とうかがっている方もいらっしゃるため、義務感で参加したりかえって負担感が増さない配慮も重要と考えており、どの方にとっても程よい交流の持ち方を検討していきます。
2	保育所や幼稚園等との交流や、地域で他のこどもと活動する機会がない。	アンケートでは半数近くの方に、左記について、機会がない・どちらとも言えない・わからないとお答えいただきました。ほとんどの方が毎日幼稚園・保育園に通われている中で、小集団での療育をご利用いただいているため、所属されている園との連携に力を入れ、事業所近辺での交流は実施してきませんでした。そのため、この項目に関する保護者の方のご要望が把握できていないことも要因かと思われました。	保育所や幼稚園等との交流や、地域で他のこどもと活動する機会について、保護者の方のご要望やその内容、目的について、把握するように努めます。その上で、どのようなことが必要なのか検討していきます。
3	こどもの活動等のスペースが十分ではない。	児童発達支援センターの基準を満たしてはいますが、ルールのある遊びや運動プログラムなどの小集団活動を行う際には、十分な広さではなかったと思われます。	ビルの共有スペースや、保護者の懇談スペースを時間で遣り繰りするなどの調整を引き続き行いながら、スペースの確保に努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名
横浜市戸塚地域療育センター
びーす東戸塚（児童発達支援事業所）公表日
令和7年3月26日利用児童数
47名回収数
31名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	6	2	0	限られたスペースの中で、工夫して使いやすいようにされていると思います。	クラス間で調整したり、プログラム内容によって場所を変えるなど、調整しながら使用しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	2	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	1	1	十分な支援は受けられていると思うが、他の子と喧嘩になったり、悪い行動を真似したことがあり、もっとプロフェッショナルな形で予防したり、対策の余地があったのではないかと感じます。	ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。事前の打合せやプログラムを変更するなどの調整を日々行いながら進めてまいりましたが、防ぎきれないことがありました。引き続き、見直しを進めるとともに、職員体制の見直しも検討しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	4	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	2	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	3	7	4		ほとんどの方が毎日幼稚園・保育園に通われている中で、小集団での療育をご利用いただいているため、所属されている園との連携に力を入れています。
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	4	2	0	土曜日にWebで研修の時があるが仕事で見れないのが残念です。	参加できなかった方向けに、講座を録画したものをアーカイブ配信を行っております。ぜひ、ご活用ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	3	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	0		

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	12	3	3		毎回の懇談の使い方については、検討し職員間でも共有を図ります。保護者同士の交流を求めている方がおられる一方で、交流を求めている・苦手な方もいらっしゃるため、配慮しながらどの方にとっても程よい交流の持ち方を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	4	1	1		療育終了後に、ご希望に応じて面談時間を確保しています。また、電話相談や相談票での相談もできるようにしております。相談しやすい形をご利用いただければと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	2	1	2		年5回おたよりを発行し、予定やプログラムのねらいなど、担当からのメッセージを発信しておりますが、よりマチコミメールの配信するなど、活用方法を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	0	4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	4	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	5	1	1		どのお子さんにも楽しみに通っていただける支援を引き続き検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	1	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		横浜市戸塚地域療育センター びーす東戸塚（児童発達支援事業所）			公表日	令和7年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		常時の個別対応が必要なお子さんがいる場合、他のお子さんの状態像によっては担任2人では運営が難しいことがあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	療育的観点からできる工夫はしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	限られた空間の中でイスや机などの配置を変えながらプログラムを工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	全体としては限られた空間ではあるが、相談室等を使うことで個別の対応ができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	MBOを活用しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	情報を共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・必要時園長や主任に相談しながら立案しています。 ・振り返り次のプログラムにつなげています。 ・職員間で適宜話し合いながら、アイデアを出し合い、活動プログラムを決定しています。	

い	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1		工夫しているものの、クラスの状況によって偏ってしまうところがあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	・クラスの状況に応じて、個別で実施する教材プログラム等を実施しています。 ・カンファを通じて作成した支援計画をもとに支援が実際に行われています。 ・動的活動と静的活動を1日の中に組み合わせて行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	療育参観や園訪問を通して実施しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1		日々の懇談の前後でやり取りする機会はあるが、十分ではないと感じます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		個人情報の点で難しさがあります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市戸塚地域療育センター 保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年2月18日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年2月23日		～ 令和7年2月23日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月4日		～ 令和7年2月25日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育センター本体の事業として、関係機関技術援助を長年にわたり実施してきたことから、訪問先となる機関と連携の実績があり、訪問支援事業を行う際にも関係が取りやすい点があると思います。	当センターでの診療評価および、関係機関技術援助事業の双方の視点から、ニーズを把握し、訪問支援事業に結び付けるよう、意識的に取り組んでいます。	支援ニーズを把握した際に、どの時期にどれくらいの期間の訪問事業を行うことがより効果的か、成長段階や集団の様子などを総合的に評価して、より吟味して実施していきます。
2	対象児の評価および助言指導の際に、多職種によるチームでのアセスメントが可能です。	対象児の課題に応じて、訪問するスタッフの職種を柔軟に組んで、関わっています。	訪問スタッフの職種によって、その専門性を共有できるような啓発の機会も設けていきます。具体的な例をあげれば、作業療法士が訪問した際の助言を理解していくために必要な知識を、セミナー動画「不器用にはわけがある」で事業所のホームページに掲載して、相手先のスタッフも視聴できるようにするなどを継続していきます。
3	必要に応じて、集団療育の利用児の中から訪問支援事業を併用することも可能です。	集団療育との併用が必要であれば実施できます。また、頻度の高い集団療育の利用が困難で、訪問支援事業のみを利用する場合も、家庭状況に合わせて支援計画を立案していきます。	ニーズの多様化に対応できるよう、多様なプラン提示を心掛けて、ご家族に提示していきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援事業の対象児の発達特性に応じて、必要なスタッフの選任を行っていますが、他の業務と兼務になり、人数や回数の確保に制限が生じています。	保育所等訪問支援事業の専業スタッフを確保することができないことです。	次年度の事業計画やプラン検討と同時に、個別のケース検討で保育所等訪問支援事業の利用者を決め、職員の体制を整えるように取り組んでいます。
2	現時点では、単年度の実施として利用者の了解を得て実施しています。複数年にまたがる支援計画が立てられません。訪問支援事業の開始時期が今年度のように年度後半になった場合も、目標の達成の有無によらず年度末で終了とせざるを得ないことがあります。	療育プログラムがすべて年度単位で展開されていることが要因だと思います。	長期プラン（3,4歳児でアセスメントプログラムを実施後、当事業を利用し、就学支援を行う）の一環とすることで、継続的な支援の一部と位置づけて取り組むことで、より効果が期待できます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名

横浜市戸塚地域療育センター
保育所等訪問支援

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 1名

回収数 1名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。		1			記載された意見はありませんでした。以下も同様です。	教材はありますが、今年度は使う機会がありませんでした。次年度は使った教材あれば保護者と共有を図るようにします。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。		1				年度後半に設定しており、回数が十分ではなかったかと思われます。今後は、年度前半から開始できるように努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。		1				年度によって、スタッフ体制が整えにくい状況ですが、ニーズにお応えできるように、人員体制の整備に努めます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。		1				計画目標の達成には、回数が十分ではありませんでした。計画遂行に十分な回数を今後確保していきます。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		1				利用開始前に、文書でお渡ししながらご説明しました。利用開始後も、ご質問があれば対応できるように整えます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		1				集団療育を並行して利用されたので、集団の計画と、訪問のみの計画がわかりにくい部分がありました。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。			1			集団療育において、家族支援プログラムを提供しており、並行して行った訪問支援事業独自のものを行いませんでした。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1				訪問を実施するごとに、面談で報告と助言を行いました。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		1				面談時間をもう少し長く確保して、今後は共感的に支援できる部分を増やしていくよう努めます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		1				ご家族から申し出がしにくい可能性を考え、相談しやすい場のアピールに努めます。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。			1		訪問支援事業については、今後発信します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。			1		緊急時の対応については、訪問先と十分な確認をとっていませんでした。今後は取り組めるように努めます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。			1		安全を確保について心掛けていますが、具体的な支援の説明が不足していたと思います。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1				
	28	事業所の支援に満足していますか。		1			計画目標の達成には、回数が十分ではありませんでした。計画遂行に十分な回数を今後確保していきます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年3月26日				
横浜市戸塚地域療育センター 保育所等訪問支援		利用児童数 1名 回収数 1名				
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
保育園の様子をお伝えしたり、お見せすることが集団療育利用中にはなかなかできないので、よい機会になりました。今回は、就学に向けてのタイミングで支援員の方に来ていただけて良かったです。今後は、集団療育の担任の先生もいらしていただけると、共有できることが多くなるのではと思いました。お忙しい中、ありがとうございました。				年度後半の実施だったので、就学に向けてテーマを絞り、訪問支援を実施しました。並行して利用していた集団療育の担任とも情報を共有して訪問するように努めました。直接、対象児の指導にあたる担任同士で別途、電話相談などが検討できればよかったかと思いました。今後の取り組みの際に活かしていきたいと思います。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		横浜市戸塚地域療育センター 保育所等訪問支援		公表日 令和7年3月26日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。		1		訪問結果を共有する面接を行って、意向を把 握しながら進めましたが、評価表は導入して いなかったなので、検討したいと考えます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	1			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	1			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1		並行して利用していた集団療育の担当者と連 携してサービス提供を行った。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	1		基本的な生活習慣についてアセスメントした結 果が、支援期間の短さもあって、十分に取り 組めなかった。	計画の立案後、予測以上に生活習慣（特に排 泄面）の課題が大きかったことがあり、期間 の設定を見直せるとよかったと考えます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	1			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	1		相談内容の共有、課題の共有を密に行った。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	1			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	1			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1			